

科目名 産業経営学特論(一) (2単位)

担当者氏名 田中 俊次、長澤 真史、黒瀧 秀久、菊地 哲夫

◆学習・教育目標

現代社会における産業経営の組織と管理の特質を歴史的・理論的に明らかにし、特に地域産業の特質を踏まえた産業経営の分析の手法を学び、農林水産業に関連する企業の経営、経営・財務問題も視野に入れた「応用経営学」の学的体系を構築する。そのために既存の学説、経営経済の諸事情に関連する文献サーベイとともにフィールドワークを行う。

◆取り扱う領域(キーワードで記載)

地域産業 経営分析	農林水産業 マネジメント	環境ビジネス	コミュニティビジネス
--------------	-----------------	--------	------------

◆授業の進行等について(単位制度に基づく授業の進行予定・内容)

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1-5回	産業経営学の課題と方法 (担当 長澤真史)	授業の狙い、進め方等のガイダンスを行い、その上で産業経営学を学ぶ際の課題と方向を示す。そしてグローバル経済の進展の下での現代産業の特徴と存立構造、地域産業を構成する農林水産業の組織、管理、今後の課題を修得する。	産業経営の一般的理解と地域農林水産業の今日的課題を修得する。
6-10回	産業経営と環境ビジネス (担当 黒瀧秀久)	産業経営のマネジメントの基礎的理解を踏まえて、今日の新たな社会経済の動きと関連して各国のグリーンニューディールと環境ビジネスを取り上げる。特に自然生態系、自然資源の適切な管理と地域社会の持続的発展の両立方向を理論的実証的に修得する。	環境ビジネスについて、生態系・自然資源の管理と地域社会の持続的発展との共生のあり方を学ぶ。
11-15回	産業経営と企業経営の分析 (担当 菊地哲夫)	流通業、なかでも生鮮食品を取り扱う卸売業者(会社)を中心に販売状況、経営問題、財務問題の実際を踏まえて、その対応と今後の課題を考察する。卸売業者の経営は年々厳しくなっている。取扱高の減少、取引慣行の問題、マネジメントの欠如がその背景として考えられるが、経営問題の本質を探り、企業経営のあり方と今後の課題について修得する。	企業の経営分析手法の習得と企業経営の理論と実際を学ぶ。

◆教科書及び資料(授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

講義の際に基本文献を紹介し、必要な文献・資料は配付する。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

講義の際に指示する。

◆評価の方法(レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト)

ディスカッションへの参加度合い、課題レポートの内容によって評価する。

◆その他受講上の注意事項

自己の課題意識を明確化し、積極的な態度で臨むこと。